Abstract

AROMA RESEARCH　No.50（vol.13/No.2）

生物多様性を生み出す生態系ネットワーク

大串隆之

〈要旨〉

生物多様性はどのように生み出され、維持されているのか？これは生物科学の Big Question である。地球上の生物は、捕食被食・競争・共生などさまざまな相互関係で結ばれている。このような相互関係が縦横に絡みあった生態系ネットワークでは、２種の関係は第３種の介在によってしばしば大きく変わる。この「間接効果」が、生物多様性の創出と維持に不可欠な役割を果たしていることが分かってきた。植物が植食者に食べられると、さまざまな形質が変わる。植物が出す香りもその一つである。

本稿では、植食者が誘導する植物の変化が間接効果によって生態系ネットワークをいかに形作るのか、そして生物多様性をいかに生み出し維持しているかについて考えたい。

〈キーワード〉

生物多様性、間接相互作用、表現型可塑性、植食者、植物の誘導反応